

# 鍛造用語辞典 第三版(令和4年4月発刊)

## 正誤表

一般社団法人 日本鍛造協会

下記の通り、誤記がありましたのでお詫びして訂正いたします。

訂正箇所:P208 マルクエンチ

誤
鋼を、Msマルテンサイト変態点直上の温度に熱した油や溶液(ソルト)の中に漬けて、焼入れし、内部温度が外部温度と同一温度になるまで恒温保持し、引き上げて空冷し、Ar'変態を徐々に起こさせる操作。この焼入れ法は、焼割れや焼曲りを生じさせにくい。マルクエンチした後、更に焼戻しを行って使用する。
正
⇒マルテンパ(209頁)

訂正箇所:P209 マルテンパ

誤
焼入れした鋼中に見られる針状の非常に硬い組織。焼き戻すとセメントサイトを析出してフェライトになる。最近では、鋼に限らず、拡散によらない変態の生成物を一般にマルテンサイトと呼ぶ。
正
この処理は、鋼を焼入れする際に生じる変形を僅かにし、焼割れを防ぐのに効果的な熱処理である。マルテンサイト生成温度領域の上部または、Ms点よりやや高い温度に設定した塩浴あるいは焼入液中に焼入れして品物の各部分が一樣にその温度になるまで保持した後、ベイナイトの発生前に大気中に放冷する処理である。マルクエンチともいう。 ⇒マルクエンチ(208頁)
マルテンパ(マルクエンチ)